

## IBM Kenexa Learn

ご利用条件(以下、「ToU」といいます。)は、本「IBM ご利用条件 – SaaS 特定オファリング条件」(以下、「SaaS 特定オファリング条件」といいます。)、および、以下の Web サイトでご覧いただける「IBM ご利用条件 – 一般条件」(以下、「一般条件」といいます。)という表題の文書で構成されています (URL:<http://www.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/sla/tou-gen-terms/>)。相違がある場合には、「SaaS 特定オファリング条件」が「一般条件」に優先するものとします。「IBM SaaS」の注文、そのアクセスまたは利用により、お客様は「ToU」に同意したものとみなされます。

### 1. IBM SaaS

以下の「IBM SaaS」オファリングは、これらの「SaaS 特定オファリング条件」の対象です。

- IBM Kenexa LCMS Premier on Cloud
- IBM Kenexa LCMS Premier on Cloud Author
- IBM Kenexa LCMS Premier on Cloud Dynamic Delivery
- IBM Kenexa LCMS Premier on Cloud Additional Language
- IBM Kenexa LCMS Premier on Cloud Additional Report
- IBM Kenexa LCMS Premier on Cloud Additional Microsoft Content Conversion
- IBM Kenexa LMS on Cloud
- IBM Kenexa LMS on Cloud Human Resource Synchronization
- IBM Kenexa LMS on Cloud Additional Language
- IBM Kenexa LMS on Cloud Data Import
- IBM Kenexa LMS on Cloud LDAP Support
- IBM Kenexa LMS on Cloud Additional Adaptive Report
- IBM Kenexa LMS on Cloud eCommerce Integration
- IBM Kenexa Hot Lava Mobile on Cloud

### 2. 課金単位

「IBM SaaS」は、「取引文書」で規定された以下の課金単位のいずれかに従って販売されます。

- 「アクセス」は、「IBM SaaS」を取得する際の課金単位です。「アクセス」とは、「IBM SaaS」を利用する権利です。お客様は、お客様の「証書 (PoE)」または「取引文書」に指定された計測期間中に、「IBM SaaS」を利用するために1件の「アクセス」使用許諾を取得する必要があります。
- 「許可ユーザー」は、「IBM SaaS」を取得する際の課金単位です。お客様は、何らかの手段により直接的または間接的に(例えば、多重化プログラム、デバイスまたはアプリケーション・サーバーを介して)「IBM SaaS」にアクセスする「許可ユーザー」ごとに、個別に専用の使用許諾を取得する必要があります。お客様の「証書 (PoE)」または「取引文書」に定める課金期間中に「IBM SaaS」へのアクセス権限が付与される「許可ユーザー」の数をカバーするのに十分な使用許諾を取得する必要があります。
- 「対象参加者」は、「IBM SaaS」を取得する際の課金単位です。「IBM SaaS」が管理または追跡するサービス提供プログラムに参加できる各個人または法人は、「対象参加者」です。お客様は、自己の「証書 (PoE)」または「取引文書」に定める課金期間中に「IBM SaaS」内で管理または追跡されるすべての「対象参加者」をカバーするのに十分な使用許諾を取得する必要があります。
- 「インスタンス」は、「IBM SaaS」を取得する際の課金単位です。「インスタンス」とは、特定の構成の「IBM SaaS」へのアクセスです。お客様の「証書 (PoE)」または「取引文書」に定める課金期間中にアクセスおよび利用することが可能な「IBM SaaS」の「インスタンス」ごとに十分な使用許諾を取得する必要があります。

### 3. 料金および課金

「IBM SaaS」に対する料金は、「取引文書」に記載されます。

#### 3.1 セットアップ

セットアップ料金は、「取引文書」に明記されます。

#### 3.2 オンデマンド

オンデマンド・オプションは、お客様が「取引文書」に規定された料率でかかるオンデマンド・オプションを発注した月に請求されます。

#### 3.3 超過分

課金期間中のお客様の「IBM SaaS」の実際の利用が、「PoE」に記載される使用許諾の範囲を超える場合には、お客様は、「取引文書」の規定に従い、その超過分について請求されます。

### 4. 期間および更新オプション

#### 4.1 期間

「IBM SaaS」の期間は、「取引文書」に規定される「IBM SaaS」の一部にアクセス可能となったことを、IBM がお客様に通知した日に開始します。「PoE」または「取引文書」で、期間の正確な開始と終了の日付、および期間の更新方法または更新の有無を追認します。お客様は、期間中、IBM または「IBM ビジネス・パートナー」にお問い合わせいただくことで、お客様の「IBM SaaS」の利用レベルを上げることができます。IBM は、「取引文書」でその利用レベルの変更を追認します。

#### 4.2 IBM SaaS の期間更新オプション

お客様の「PoE」には、期間の満了時に「IBM SaaS」を更新するか否かが規定されます。更新の場合には、以下のいずれかの期間を指定します。

##### 4.2.1 自動更新

お客様の「取引文書」に、お客様の更新は自動的に行われると記載されている場合、お客様は、「取引文書」に規定されている期間の有効期間満了日の少なくとも 90 日前までに、書面による要求により、期間満了となる「IBM SaaS」期間を終了することができます。IBM または「IBM ビジネス・パートナー」が、有効期間満了日までにかかる終了通知を受領していない場合、期間満了となる期間は 1 年間、または「PoE」に規定される当該更新前の期間と同じ期間のいずれかで自動更新されます。

##### 4.2.2 請求の継続

「取引文書」に、お客様の請求は継続すると付記されている場合、お客様が「IBM SaaS」へのアクセスを継続すると、継続支払い請求ベースで「IBM SaaS」の利用に対して請求されます。「IBM SaaS」の利用を中断し、継続的な請求プロセスを停止するためには、お客様は、90 日前までに、IBM または「IBM ビジネス・パートナー」に「IBM SaaS」の解約を要請する通知を書面で行う必要があります。お客様のアクセスの解約により、お客様には解約が効力を生じる月内の未処理のアクセス料金が請求されます。

##### 4.2.3 更新必要

「取引文書」に、お客様の更新タイプは「終了」であると付記されている場合、「IBM SaaS」は期間の満了時に終了し、お客様の「IBM SaaS」へのアクセスは解除されます。終了日以降も「IBM SaaS」の利用を継続するには、お客様は、お客様の IBM 営業担当員または「IBM ビジネス・パートナー」に対して発注し、新規の「サブスクリプション期間」を購入する必要があります。

### 5. テクニカル・サポート

基本的なお客様サポートは、「IBM SaaS」オフファリングおよび「前提ソフトウェア」に対して、「サブスクリプション期間」中に適宜提供されます。使用可能なテクニカル・サポートおよびお客様サポートの詳細は、以下の Web サイトをご覧ください。

<http://www.ibm.com/software/support/kenexa/supportlrn.html>

## 6. 「IBM SaaS」 オファリングの追加条件

### 6.1 セーフ・ハーバー原則の証明

IBM は、EU (欧州連合) からの情報の収集、使用および保存に関して、米国商務省が規定する「米国 - EU 間のセーフ・ハーバーの枠組み」に従うものとします。「セーフ・ハーバー」の詳細および IBM の認証宣言は、<http://www.export.gov/safeharbor/> でご覧いただけます。

### 6.2 規範的なデータに関する権利

別段の定めがある場合でも、規範的な調査、分析、およびレポート作成の目的に限り、IBM は、本「ToU」に基づいて IBM に提供されたお客様のコンテンツを、集約された匿名形式 (つまり、お客様を機密情報のソースとして特定できない形式、および個々の従業員および求職者、またはそのいずれかを特定できる個人情報削除される形式) で維持、使用することができます。本条項の規定は取引終了後または満了後も存続するものとします。

### 6.3 お客様のデータの返却または削除

「ToU」または「本契約」の終了後または満了後の、お客様の書面による要求により、IBM は、自社のバックアップ・ポリシーおよび保存ポリシーに従い、「IBM SaaS」で利用可能なすべての「個人情報」を削除するか、またはお客様に返却します。

### 6.4 データ収集

お客様は、IBM が、利用統計データと情報 (ユーザー・エクスペリエンスの改良に役立てること、およびユーザーとの間の対話をカスタマイズすること、またはそのいずれかを目的とした) を収集する際に、<http://www-01.ibm.com/software/info/product-privacy/index.html> に従って、個人を特定できる情報を収集するために、クッキーおよび追跡技術を使用することに同意するものとします。準拠法で要求されている場合には、お客様は対象ユーザーに通知済みであり、上記のすべてを実行することについてユーザーの同意を得ています。

## 別紙 A

IBM Kenexa Learn on Cloud は、お客様による学習コンテンツの開発、提供、追跡を可能にするプラットフォームです。お客様は、以下に記載する IBM Kenexa Learn on Cloud の 3 製品のいずれか 1 つ、またはその任意の組み合わせを発注することができます。

- IBM Kenexa LCMS Premier on Cloud Author
- IBM Kenexa LMS on Cloud
- IBM Kenexa Hot Lava Mobile on Cloud

### 1. IBM Kenexa LCMS Premier on Cloud Author

IBM Kenexa LCMS Premier on Cloud Author には、多様な提供のために共同環境で再使用可能なコンテンツの開発を可能にし、検索、クライアント・ベースのメタデータ、動的な分類法、オブジェクト追跡およびレポート作成機能によりコンテンツを管理、再利用し、外部コンテンツまたは従来コンテンツのインポート、タグ付け、追跡、管理を実行でき、また、単一ソーシングのコンテンツを作成できる「オーサリング」機能を含みます。

### 2. LCMS Premier on Cloud Author の発注可能なオプションの機能

#### IBM Kenexa LCMS Premier on Cloud Dynamic Delivery

AICC 標準またはその他サポートされている方法を用いて e-ラーニングを LCMS から直接提供することを可能にします。コンテンツは、対象者のニーズおよび提供時に利用する媒体のニーズを満たせるように、提供時に動的にフォーマットされます。

#### IBM Kenexa LCMS Premier on Cloud Additional Language

IBM Kenexa LCMS Premier on Cloud は英語で提供されます。この機能は追加の言語パックによって、提供される言語以外の言語を提供します。

#### IBM Kenexa LCMS Premier on Cloud Additional Report

標準でサポートされている付属のレポートの他に、追加レポート機能を提供します。

#### IBM Kenexa LCMS Premier on Cloud Additional Microsoft Content Conversion

指定されたフォーマット済みの Word ファイルまたは PowerPoint ファイルをインポートするために、追加のマッピング・ファイルを提供します。

### 3. IBM Kenexa LMS on Cloud

クラスルーム学習、オンライン学習およびモバイル学習をサポートする、コースの管理、文書化、追跡、レポートおよび提供を行うための構成可能な「学習管理システム」。安全な環境でソーシャル・ソフトウェア機能を使用、統合することによって、同僚および専門家が学習をサポートします。

### 4. LMS on Cloud の発注可能なオプションの機能

#### IBM Kenexa LMS on Cloud Human Resource Synchronization

お客様の人事情報システムから LMS ユーザーの同期を可能にします。

#### IBM Kenexa LMS in Cloud Additional Language

IBM Kenexa LMS on Cloud は英語で提供されます。この機能は追加の言語パックによって、提供される言語以外の言語を提供します。

#### IBM Kenexa LMS on Cloud Data Import

LMS への履歴データのインポートを可能にします。履歴データは、Excel スプレッドシートで提供する必要があります。

#### IBM Kenexa LMS on Cloud LDAP Support

LMS と、LDAP プロトコルを使用している第三者のディレクトリー・サーバーとを統合します。

### **IBM Kenexa LMS on Cloud Additional Adaptive Report**

標準でサポートされている付属のレポートの他に、追加レポート機能を提供します。

### **IBM Kenexa LMS on Cloud eCommerce Integration**

LMS を e- コマースと連動させることができます。

## **5. IBM Kenexa Hot Lava Mobile on Cloud**

さまざまなコミュニケーション、モバイル学習およびパフォーマンス・サポートのシナリオに適合するために、デバイスに依存しないさまざまな種類のモバイル・コンテンツを開発、提供し、その使用の分析を行うモバイル学習ソリューション。一度のコンテンツ開発で、モバイル・デバイスおよびタブレットに展開する能力を含みます。

## 別紙 B

## IBM Kenexa Learn on Cloud

IBM は、以下の条件に従って、本 SLA をお客様に提供します。開始時またはお客様の「サブスクリプション期間」の更新時における最新版の本 SLA の条件が、適用されます。お客様は、SLA が、お客様に対する保証とならないことを了承します。

## 1. 定義

- a. 「権限を有する担当者」とは、お客様が IBM に対して指定している、本 SLA に基づき「請求」を提出することが認められた個人をいいます。
- b. 「可用性クレジット」とは、IBM が検証した「請求」に対して提供する救済措置をいいます。「可用性クレジット」は、返金または「サービス」のサブスクリプション料金の将来の請求額からの相殺の形式で適用されます。
- c. 「請求」とは、本 SLA に基づいて、お客様の「権限を有する担当者」が IBM に対して提出する、「契約月」中に「サービス・レベル」が満たされていない旨の主張をいいます。
- d. 「契約月」とは、月の一日の午前 12 時 (米国東部標準時) から当該月の末日の午後 11 時 59 分 (米国東部標準時) までを基準とする「サービス」期間中の各一箇月をいいます。
- e. 「お客様」とは、IBM に対して「サービス」を直接申し込み、かつ、IBM との間の「サービス」に関する契約に基づく重大な義務 (支払義務を含みます。) に違反していない組織をいいます。
- f. 「ダウン時間」とは、「サービス」のための実動システム処理が停止し、適切な許諾を得ているすべてのお客様のユーザーが、あらゆる「サービス」を利用できなくなる期間をいいます。「ダウン時間」には、「サービス」が以下のいずれかに起因して利用できなくなった場合の期間は含まれません。
  - (1) 計画されたシステムのダウン時間。
  - (2) IBM の管理の及ばない事象または原因 (例: 自然災害、インターネット障害等)。
  - (3) お客様または第三者のアプリケーション、機器またはデータの不具合。
  - (4) お客様 (お客様のパスワードまたは機器を使用して「サービス」へアクセスするあらゆる利用者を含みます。) または第三者の作為または不作為。
  - (5) 「サービス」にアクセスするための所要のシステム構成およびサポートされているプラットフォームを満たさないこと。
- g. 「事象」とは、「サービス・レベル」が満たされない原因となる状況または一連の状況をいいます。
- h. 「計画されたシステムのダウン時間」とは、保守作業のための定期的なサービスの停止をいいます。
- i. 「サービス」とは、本 SLA が適用される IBM Kenexa のサービスをいいます。本 SLA は、各「サービス」に対して組み合わせられることなく個別に、適用されます。
- j. 「サービス・レベル」とは、IBM が本 SLA において提供する「サービス」のレベルを評価するための、以下に規定する基準をいいます。

## 2. 「可用性クレジット」

- a. お客様が、「請求」を申請するためには、IBM の重要度 1 のサポート問題の報告手順に従って、各「事象」に対するサポート・チケットを、該当する「サービス」の IBM お客様サポート・ヘルプ・デスクに対して、記録しなければなりません。お客様は、「事象」に関するすべての必要な詳細情報を提出し、「事象」の分析および解明につき、重要度 1 のサポート・チケットが要求する範囲で IBM を合理的に支援しなければなりません。かかるチケットは、「事象」がお客様による「サービス」の使用に影響を及ぼしたことにお客様が最初に気付いた時点から 24 時間以内にログに記録する必要があります。

- b. お客様の「権限を有する担当者」は、お客様の「可用性クレジット」の「請求」を、「請求」の対象となる「契約月」の末日から3営業日以内に提出しなければなりません。
- c. お客様の「権限を有する担当者」は、「請求」に関するあらゆる合理的な詳細（関連するすべての「事象」および満たされていないとして請求する「サービス・レベル」についての詳細な説明を含みますがこれに限られません。）を、IBMに提出しなければなりません。
- d. IBMは、各「契約月」中における「ダウン時間」の合計時間を、内部で測定し、報告します。IBMは、有効な各「請求」に対して、適用可能な「可用性クレジット」の最高額を、各「契約月」中における「ダウン時間」の合計時間に基づいて適用します。同「契約月」中における同「事象」に対する「可用性クレジット」は、重複して適用されません。
- e. 各「契約月」に与えられた「可用性クレジット」の合計は、いかなる状況においても、「サービス」に対してお客様がIBMに支払った年間料金の12分の1の10%を超えることはありません。
- f. IBMは、IBMの記録から入手し得る情報に基づいて、「請求」の検証を合理的に判断します。お客様の記録におけるデータとIBMの記録の間で相違がある場合には、IBMの記録が優先します。
- g. 本SLAに基づいてお客様に提供される「可用性クレジット」は、「請求」に関するお客様の唯一かつ排他的な救済措置です。

### 3. 「サービス・レベル」 - 「契約月」における「サービス」の利用可能性

達成したサービス・レベル (「契約月」中)	「可用性クレジット」 (「請求」の対象である「契約月」におけるサービス契約月額料金の割合)
93.0% - 99.2%	5%
93% 未満	10%

「達成したサービス・レベル」の割合は、以下のとおりに算出されます。(a)「契約月」における分単位の総時間数から、「計画されたシステムのダウン時間」の分数を差し引き、そこから(b)「契約月」における予定外の「ダウン時間」の分単位の総時間数を差し引いた値を(c)「契約月」における分単位の総時間数(「計画されたシステムのダウン時間」を差し引きます。)で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。

### 4. 除外事項

本SLAは、IBMのお客様に限り、利用することができます。本SLAは、以下の場合には適用されません。

- ベータ版およびトライアル版の「サービス」。
- 非実稼動環境(テスト、ステージング、災害復旧、または品質アセスメントを含みますが、これらに限定されません)。
- 「サービス」におけるIBMのお客様のユーザー、ゲスト、参加者、および許可された招待者による「請求」。
- お客様が、「ご利用条件」、「利用規定」またはお客様の「サービス」に対する契約に基づく重大な義務に違反(支払義務の不履行を含みますが、これに限られません。)した場合。